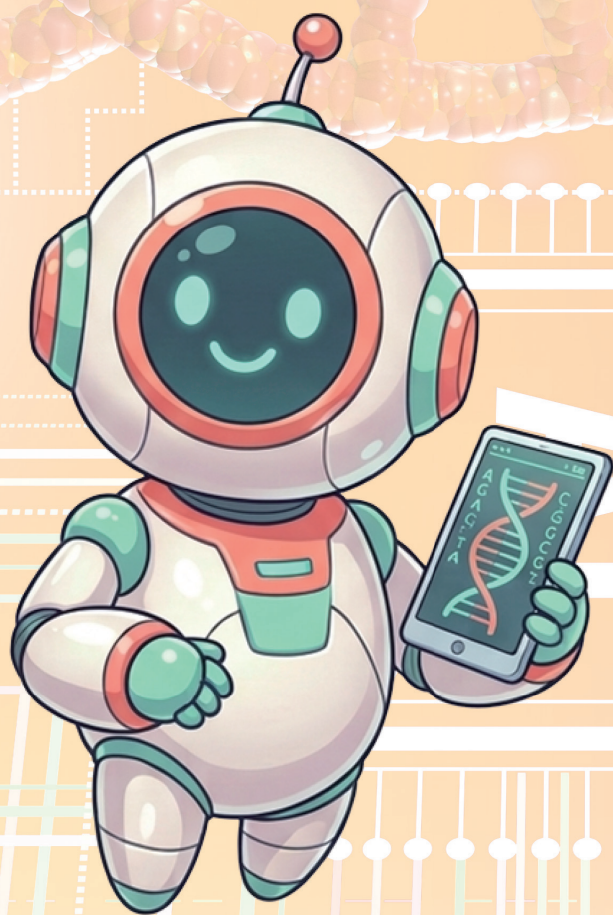


人間総合科学大学

次世代生命科学部

仮称 2028年4月 開設予定(設置構想中)

私の未来が見える!



デジタル生命科学科 (仮称)

生命科学とデジタルで未来を動かす力に。

アニマル生命科学科 (仮称)

動物とひとの明日のために。



人間総合科学大学

いのち × デジタルで、 未来をつくる。

2028年、新学科スタート

遺伝子、細胞、微生物。

そこにAIとデータをかけあわせると、医療も、食も、環境も、ぜんぶ変わる。「気になる！」を、社会を動かす力に。



keywords

生命科学、バイオインフォマティクス、微遺伝子、タンパク質、AI×生命、ゲノム解析、発酵、細胞培養、プログラミング、微生物、再生医療、データサイエンス、遺伝子工学、機能性食品、タンパク質工学、個別化医療、Python、創薬、化粧品開発

POINT 1

バイオ×デジタル、 両刀づかい。

生命科学とデジタル技術を活用しながら、“いのち”の先端技術を扱える人になる。

POINT 2

“人”が真ん中の 科学。

技術だけでなく、“人にとって本当にいいか？”まで考える。
人間総合科学が土台の学科です。

POINT 3

研究で終わらず、 社会に届ける。

企業やチームと組んで“世の中に届ける”までを実習で経験。社会実装まで、やりぬく力。



医療・ヘルスケア

オーダーメイド治療、再生医療



食・発酵

機能性食品、発酵技術



美容・化粧品

次世代化粧品の研究



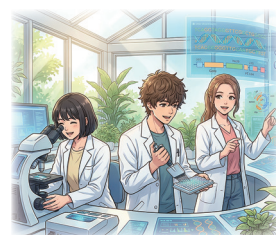
研究基盤産業

研究のインフラを開発・提供



情報・AI 創薬

バイオインフォマティクス



4年間での学び

1-2年次

根をはる。

生命科学・情報科学の基礎／基礎実験／科学的な考え方／伝える力。まずは“土台”をしっかり。

2-3年次

枝葉を広げる。

専門実習でゲノム解析・細胞培養・データ分析を実体験。
チームで課題探究し、“できること”が一気に増える。

4年次

実をむすぶ。

卒業研究で専門を深め、社会実装プロジェクトにも挑戦。進路に向けた最後のピース。

養成する人材像

大学共通の学びである「人間総合科学」を基盤に、デジタル技術を活用した生命科学の専門的な知識や技術を学修し、社会の様々な領域で応用できる能力を身につけ、人間が健康で幸せに生きることができる社会の構築を目指して、バイオ技術の新たな活用方法や活用の場を他者との協働において共創できる能力と意欲を持った人材を養成する。

取得を目指す資格

中級バイオ技術者

バイオインフォマティクス技術者



バイオベンチャー企業や創薬・食品など

アドミッション・ポリシー

次世代生命科学部デジタル生命科学科(仮称)では、次のような資質を有した人材を受け入れる。

1

人間に関する様々な事象に関心を持ち、総合的、科学的に理解を深めることに努力できる人

2

デジタルを活用した生命科学に関心があり、それらの知識や技術を学ぶための基礎学力と意欲を有する人

3

バイオ技術を社会の様々な領域で応用し、社会的課題を解決することに意欲を有する人

4

デジタル技術を活用した生命科学の知識と、バイオ技術を活用してよりよい社会の実現と自身のキャリアの発展を成し遂げようとする目標を持ち、他者と協働しながら学修できる人

動物 × 人が、 よりよく生きる、 未来社会のために。

2028年、新学科スタート



犬や猫、小動物。

動物のいのちと心をささえると、人と動物がもっともっと幸せになる。

keywords

生命科学、動物看護、ペット栄養、動物行動学、グルーミング、犬や猫、動物福祉、しつけ・行動、避難・保護、病院実習、麻酔・手術補助、共生・地域、美容、化粧品

POINT 1 動物看護を学ぶ。

犬や猫、小動物の命を支え、同時に飼い主のケアもできる、生命科学を理解した動物看護を目指す。

POINT 2 “いのち”を真ん中に。

技術だけでなく、動物の気持ちや福祉（アニマルウェルフェア）まで考える。人間総合科学が土台の学科。

POINT 3 人と動物の共生を、実際に。

動物病院、地域とチームを組んで、人と動物の関係を理解し、よりよく生きる方法を考える。



動物病院・看護
動物看護



ペット栄養
ペット栄養管理士・フード設計



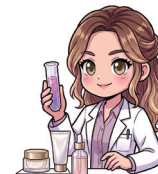
グルーミング・美容
基本的技術の習得



動物福祉・動物行動
トレーナー、行動カウンセラー



保護・共生・地域
動物ケア・人と動物の共生事業



化粧品製造・美容
化粧品・美容を支える科学を学ぶ

4年間での学び

1-2年次

根をはる。

生命科学・愛玩動物学の基礎／基礎実験／科学的な考え方や伝える力。まずは動物ケアの“土台”をしっかり。

2-3年次

枝葉を広げる。

愛玩動物看護学・ペット栄養・行動福祉・グルーミングの専門実習。現場で“できること”が一気に増える。

4年次

実をむすぶ。

卒業研究で専門を深め、国家試験にもチャレンジが可能。4年間の集大成。

養成する人材像

大学共通の学びである「人間総合科学」を基盤に、生命科学の専門的な知識や技術を学修し、動物看護や動物福祉の分野に応用できる能力を身につけ、愛玩動物と人間のよりよい共生の実現に向けて、他者と協働して共創できる能力と意欲を持った人材を養成する。

取得を目指す資格

動物取扱責任者



初級バイオ技術者



食品や美容・化粧品関連

ペット栄養管理士



アドミッション・ポリシー

次世代生命科学部アニマル生命科学科(仮称)では、次のような資質を有した人材を受け入れる。

1

人間に関する様々な事象に関心を持ち、総合的、科学的に理解を深めることに努力できる人

2

デジタルを活用した生命科学と動物学に関心があり、それらの知識や技術を学ぶための基礎学力と意欲を有する人

3

デジタルを活用した生命科学の知識や技術を、動物看護や動物福祉等の分野で活用することに意欲を有する人

4

動物看護や動物福祉等の分野で、自身のキャリアの発展を成し遂げようとする目標を持ち、他者と協働しながら学修できる人



設置の理念

次世代生命科学部(仮称)では、生命科学と人間理解をベースにおいた教育を行うことにより、今後重要なバイオテクノロジー、バイオインフォマティクス、および人間と動物のかかわりの科学を社会的に実践できる能力を身につけます。そのために、人間を内面と外面の両方から支え、また愛玩動物との関係を深めることで、健やかで豊かな人間像を実現するための実践技術を修得します。それにより、バイオ関連産業領域で技術者やコーディネーターなどとして活躍できる能力を育むとともに、バイオ技術・デジタル技術を利用し、人間が健康で幸せに生きることができる社会を、協働して構築する意欲を持った人材の養成を目的とします。



学費等

学部名称	学科名称	定員	初年度納付金 (予定)	2年次以降納付金 (予定)
次世代生命科学部 (仮称)	デジタル生命科学科(仮称)	40名	1,680,000円	1,390,000円
	アニマル生命科学科(仮称)	40名	1,680,000円	1,390,000円



類似する他大学の学部・学科

帝京科学大学 生命環境学部 生命科学科／帝京科学大学 生命環境学部 アニマルサイエンス学科
東洋大学 生命科学部 生命科学科

キャンパス・アクセス

学びの舞台は、緑あふれる蓮田キャンパス。

蓮田キャンパス



緑あふれる心地よいキャンパスで、
充実した設備と環境のもと学びます。

〒339-8539 埼玉県さいたま市岩槻区馬込1288



蓮田キャンパスへのアクセス

- JR 宇都宮線蓮田駅東口から徒歩13分
- 蓮田駅への所要時間
大宮から10分／上野から36分／池袋から37分／東京から42分
新宿から42分／川崎から62分／横浜から68分／羽田空港から82分
宇都宮から70分／高崎から88分

お問い合わせ・資料請求

048-749-6111

(日曜・祝祭日を除く9:00～17:00)

e-mail: admin@human.ac.jp

<https://www.human.ac.jp/>



設置計画はすべて予定であり、内容が変更となる可能性があります。



学校法人 早稲田医療学園

人間総合科学大学